

創造

JA いけだ
CREATION

今月号の表紙写真は7月21～22日に開催された、「第49回十勝総合畜産共進会」での集合写真です。詳細は2、3ページをご覧ください。



CONTENTS

- ※ 第49回十勝総合畜産共進会
- ※ 新規就農者激励状伝達式
- ※ 「平成30年度フレッシュ農業人を励ますつどい」を開催
- ※ 第4期（第1回）事業評価委員会を開催

- ※ 食品加工サークル視察研修を開催
- ※ 21NEWSアラカルト
- ※ 平成30年度報徳研修会を開催！
- ※ 組合員交流会のご案内

- ※ 畜産部通信
- ※ 今月の1枚
- ※ 理事会の動き
- ※ 編集後記

2018.

8
AUGUST

No.104

第49回 十勝総合畜産共進会

準最高位、最優秀賞など多数受賞!～若手の活躍光る～



第18部(未経産) 1等賞1席 若雌1最優秀賞 審査員賞
株Y・K農産の「まふゆ」

7月21～22日に標記共進会(肉牛の部)が音更町の家畜共進会場で開催され、厳正な審査の結果、出品頭数が47頭と最も多かった未経産第18～20部「若雌1」の区分において、株Y・K農産出品の「まふゆ」が最優秀賞、多田将平さん出品の「るいな」が優秀賞を受賞。また、若手生産者3名で構成した3頭1群の父系群が、全体の準最高位に選ばれるなど、大変素晴らしい成績となりました。



第19部(未経産) 1等賞1席
高嶋紳一さんの「ひらり」

今年は十勝を代表する肉牛78頭(雌牛群9組)が出品され、日頃の改良と飼養管理の成果が競われました。当JA管内からは6月開催の町家畜品評会で好成绩を収めた肉牛16頭(雌牛群2組)が出品されました。各地区から選ばれた、発育・資質ともにレベルの高い牛が揃う中、12頭2組が2等賞以上の上位入賞を果たすなど、全体的にも非常に優秀な成績となりました。

当JAでは、技術向上と仲間づくりを目的に、若手生産者による群出品を行っており、本年も未経産牛3頭の「父系群」、繁殖牛3頭の「繁殖群」の2部門への出品を行いました。惜しくも最高位は逃したものの、準最高位という成績は、池田町の和牛改良成果を証明する成績でありますし、3月から牛の選定を行い、事前の毛刈りや当日の出品対応を一丸となつて取り組んだことが結果につながったものと思われます。

9月8～9日に音更町にて開催される第17回北海道総合畜産共進会では、道内各地より選抜された牛たちが北海道の頂点を目指し競われます。当JA管内からも上位入賞牛の出品を予定しており、活躍が期待されます。最後に、関係者皆様のご支援、ご協力にお礼申し上げます。

(記事・畜産課長 米川 武)



第18部(未経産) 1等賞2席、若雌1 優秀賞
多田将平さんの「るいな」



第27部(父系群) 1等賞1席
樋口圭洋さん、村井慎平さん、多田将平さんの3頭1群



第49回 十勝総合畜産共進会出品結果

区 分	部	審 査 結 果	本牛名号	父 牛	出 品 者
若雌 1	18部	1等賞1席 最優秀賞 審査員賞	ま り ゆ	勝 早 桜 5	㈱Y・K農産
		1等賞2席 優 秀 賞	る い な	勝 早 桜 5	多 田 将 平
		2等賞1席	さ く ら	勝 早 桜 5	樋 口 圭 洋
		2等賞6席	は な み つ	美 津 照 重	北 西 亮 介
		3等賞	は や ゆ り	勝 早 桜 5	清 水 孝 悦
		3等賞	は や て	勝 早 桜 5	村 井 慎 平
	19部	2等賞3席	きよかつひら	勝 平 1	清 水 孝 悦
	20部	1等賞1席	ひ ら り	安 福 久	高 嶋 紳 一
若雌 2	21部	1等賞3席	た け こ	秋 忠 平	武 田 大 治
		2等賞1席	は つ ね	勝 早 桜 5	多 田 隆 弥
	22部	2等賞2席	は る こ 2	平 茂 晴	赤 松 大 輔
経 産	23部	2等賞1席	かつふくただ	勝 早 桜 5	清 水 孝 悦
		3等賞	さ き な	勝 早 桜 5	多 田 隆 弥
		3等賞	い ろ か	諒 太 郎	㈲大塚牧場
	24部	1等賞3席	な ゆ み	平 茂 晴	㈱Y・K農産
		2等賞2席	ほ ほ み	安 福 久	㈲大塚牧場
群出品	27部	1等賞1席 優 秀 賞 準最高位	る い な	勝 早 桜 5	多 田 将 平
			さ く ら	勝 早 桜 5	樋 口 圭 洋
			は や て	勝 早 桜 5	村 井 慎 平
	29部	1等賞1席	かつふくただ	勝 早 桜 5	清 水 孝 悦
			さ き な	勝 早 桜 5	多 田 隆 弥
			い ろ か	諒 太 郎	㈲大塚牧場

新規就農者激励状伝達式

今年度は3名が就農

平成30年度の新規就農者に対する激励状伝達式が、8月1日に行われました。

これは、北海道の農業を・農村を担う一員として、農業に意欲を持って取り組むことを期待し、JAグループ北海道5連（中央会・ホクレン・北信連・共済連・厚生連）会長連名の激励状と、当JAからお祝いを贈呈しているものです。

今年度は、昭栄地区・赤松大輔さん、千代田地区・北西亮介さん、東台地区・村井慎平さん（五十音順）の3名の自宅に訪れ、激励状と記念品を贈りました。

① 営農形態

② 生年月日・年齢

③ 趣味

④ 就農を決めた理由

⑤ 今後の目標



昭栄地区 **あか まつ だい すけ**
赤松大輔さん

- ① 畑作・酪農
- ② 1995. 3. 13 生 23歳
- ③ 筋トレ
- ④ 長男ということもあり、小さい時から将来農業を継ぐと思っていた。
- ⑤ 地域の人としっかり関わり合いを持って勉強し、一人前の農業者になる。



千代田地区 **きた にしりょうすけ**
北西亮介さん

- ① 畑作・肉牛
- ② 1991. 4. 22 生 27歳
- ③ 魚釣り
- ④ 小さいころから両親、祖母の姿を見ていて自分も農業をやるものだと思っていた。
- ⑤ 両親や地域の方たちの姿を見て、仕事の仕方など色々と覚えていきたい。



東台地区 **むら い しん ぺい**
村井慎平さん

- ① 畑作・肉牛
- ② 1995. 6. 28 生 23歳
- ③ 映画鑑賞
- ④ 自分の頑張り次第で成果が上がるのが魅力。何より牛が好き。
- ⑤ いずれは祖父に追いつき、追い越せるように頑張りたい。経営的には規模を拡大し、事故率を低下させることで利益をあげたい。

「平成30年度フレッシュ農業人を励ますつどい」を開催



本年度、池田町に新たに就農されました3名をお招きし『フレッシュ農業人を励ますつどい』が7月10日（火）にワイン城レストランで開催されました。

池田町及び2JA、関係機関の代表者の方々が出席され、新たな門出を祝福致しました。

当JAでは千代田地区の北西亮介さん（27歳）、東台地区の村井慎平さん（23歳）の2名、JA十勝高島では、武田翔乃さん（18歳）1名、合計3名が出席されました。

自己紹介ではこれからの意気込みなどをそれぞれの方々よりお話し頂き、記念品の贈呈・関係機関の方々からの温かい激励のお言葉を頂き、全員での記念撮影をおこないビュッフェスタイルでの祝宴に入りました。3名はとても緊張されていましたが、諸先輩からのアドバイス等に真剣に聞き入っていました。

（記事・営農部次長 佐藤正浩）

第4期 事業評価委員会を開催

～事業評価項目実践報告会など新たな取り組み～

6月27日農協本所大会議室にて、第4期（H30～H32）の最初の会議となる第1回事業評価委員会を開催致しました。

今回、各組織から50名（部会長会19名、女性部7名、青年部5名、各生産組合19名）の新たな評価委員により、部会長会会長の福田秀利さん（川合2地区）を委員長に選任頂き、更に、新たな事業評価項目案・行動計画案についてご承認頂きました。

第4期の評価委員50名の内、30名（60%）が新たな評価委員に刷新されたことから、評価項目の内容や評価方法など活発な意見が交わされました。

事業評価制度については、平成19年度から継続し11年が経過する中、これまでの課題として、評価項目数が多い、項目内容が難しい、評価の基準、全ての部門や事業の知識や利用がないなど課題がありましたが、第4期では、これらの解消のため、項目数については第7次農業振興計画から特に重要な項目を厳選し62項目（第3期：80項目）、平易な表現、評価票に評価項目と行動計画の併記、更に、評価に当たっては事業評価項目実践報告会を開催し、各部からの事業実績や進捗状況など情報を提供することと致しました。

評価委員の皆様には、今後の3年間、事業評価制度を通し、農協事業運営のお目付け役として、また農協事業の理解や改善・改革にご協力頂きますようお願い致します。（記事・常務理事 大塚 節）

第4期（H30～H32）農協事業評価委員

委員長 福田秀利（部会長会会長）

（敬称略）

組 織 名	氏 名
部 会 長 会	伊賀 茂・糊澤達也・山田敏樹・石田 勉・太田孝臣 守内拓司・長尾 修・宮前裕治・山根 隆・三寺盛博 前道尚広・原口直之・野沢敬裕・窪田 要・野上 稔 稲毛康晴・石井康幸・矢柳敏弘
女 性 部	林 真弓・金川貴美・伊賀みさ子・田淵佳子・高嶋輝美 小澤 司・水上由美
青 年 部	塚谷昌輝・十河耕大・安富貴昭・武田大治・中村俊夫
そ菜生産組合	窪田満穂・石澤祐介・甘利 充・穂田正也
馬鈴薯生産組合	坂東 敦・永原和敏・村中秀樹
採種圃生産組合	多田 勝・吉地隆行
もち米生産組合	堀井浩明
花卉生産組合	石川真滋
和牛生産組合	朝川知輝・清水孝悦・河口賢悟・長島典雄
酪農振興会	小野田隆彦・矢柳貴史・野村悦郎
肉牛生産組合	野尻修二

食品加工サークル視察研修を開催

7月12日に食品加工サークルの視察研修にて鹿追町を1日見学してきました。研修先は鹿追町環境保全センターにてバイオマスを有効活用した安全な農産物の生産と環境負荷の少ない循環型農業の話であったり、チョウザメの飼育やマンゴーの栽培などを見学してきました。

市街地を中心に乳牛ふん尿の適正処理を望む声上がり、平成19年10月より環境保全センターが稼働しました。1日の処理能力は乳牛ふん尿で1870頭分です。鹿追町で約100戸の酪農家のうち、市街地に住んでいる11戸の酪農家のふん尿を、毎日トラック2台分を回収しています。発酵後の堆肥は町内の酪農家や耕種農家の農地に還元しています。

プラント内ではバイオガスを燃料として利用しており、電気・温水・蒸気などの熱エネルギーに活用しています。総発電量の2割をプラント内で使用し、残り8割をほくでんに売電しています。

平成25年度から余剰熱・雪氷熱を活用したビニールハウス内にてマンゴーの栽培が開始されました。通常は夏期に出荷しますが、秋から冬にかけてハウス内の地中に温水を流して加温することで冬期に出荷し付加価値を付けます。32本のマンゴーの苗が植えてあり、昨年は108個取れました。1個1万5千円の値段で東京の大丸にて販売されたそうです。

同じく余剰熱で、平成26年度からチョウザメの養殖事業も開始しています。3歳で雌雄の判別をするためにお腹を切って判別します。雄は食肉用に、雌は8年かけて卵であるキャビアをつけ、卵と食肉用として販売されます。食肉は町内の2店舗で刺身や揚げ物として食べられるそうです。キャビアはまだこれからなので今後が楽しみです。

また、平成27年度からはバイオガスから水素を取り出すといった取り組みも行っており、水素燃料の自動車も見せてもらいました。バイオガスから取り出した水素をボンベに充填し燃料として利用します。敷地内に水素ステーションを設置し、自動車やフォークリフトの燃料としても利用を図り、環境に優しい次世代エネルギーの普及・推進を目指していました。



水素ステーションにて説明を受けている様子



チョウザメの見学

質問も活発に飛び交い、色々な施設を見学できてとても良い勉強になりました。

市街地にある花ねこパン屋で買い物した後、瓜幕にある森のキッチンかわいで、パスタ・カレー・ハンバーグがワンプレートになった食事をおいしくいただきました。チーズ工房や道の駅で買い物やソフトクリームを食べた後は、時間が余ったので音更まで足を延ばし、カントリー家具ファーマーズで家具や雑貨を見て回り、無事池田の帰路へと着きました。

(記事・営農部営農課 豊原英梨)



南関東花き園芸卸売市場

花卉生産組合

花卉生産組合市場視察

6月28日～29日に、花卉生産組合としては5年ぶりに市場視察を実施いたしました。

今回は石川眞滋組合長、石澤裕さんのお二方にご参加いただき、池田町の花卉を取り扱っていただいている、南

関東花き園芸卸売市場、大田花きを訪問いたしました。

両市場では、現在池田町から出荷している花卉の品質に関する話や、近年市場で人気のある品種に関する話などを伺いました。また、他産地の花卉を見せていただき、品種選定や品質に関するヒントをいただきました。生産者からも、他産地の動向や出荷方法などに関する質問が多くなされ、活発な意見交換の場となりました。

また、大田花きでは実際のせりも見学させていただきました。せりに関する情報を全てPCで管理しており、最先端の技術に驚きました。また、せり人が1箱ずつ花卉の状態を良く確認しながらせりを行っている姿を見て、産地として品質の良い花卉を生産することの大切さを再認識するきっかけとなりました。

今回の経験を活かし、少人数の組合ではありますが、組合員が一丸となり、品質の良い花卉の安定供給に向けて取り組んで参ります。

(記事・農産部農産課 森平優子)

年金友の会

親睦研修旅行

7月11日から13日の日程で、年金友の会の親睦研修旅行を実施しました。今回は会員38名の参加のもと、知床・川湯方面へ向かいました。

11日の朝は小雨が降るあいにくの空模様の中池田を出発し、留辺蘂にある「北の大地の水族館」を見学しました。昼食をとった後、小清水原生花園に立ち寄り、この日はウトロ温泉に宿泊。夕食はオホーツクの海の幸・山の幸を堪能し、また温泉につかり日頃の疲れを癒しました。

2日目、前日とは違って変わり朝から快晴という絶好のコンディションの中、ホテル出発後まもなく知床観光船に乗船しました。切り立った岸壁や奇妙な形の海食洞、そして清々しい滝の数々等、世界自然遺産である知床の美しい自然と壮大な景観を満喫しました。午後からは「標津サーモン科学館」にて鮭・鱒の生態系を学んだりチョウザメと触れ合った後、開陽台展望台からの330度のパノラマを眺めて、この日宿泊する川湯温泉へと向かいました。その夜はカラオケで自慢ののどを披露したり、ビンゴゲームを楽しみながら親睦を深めておられました。

3日目は、弟子屈町の「大鵬相撲記念館」を見学後、摩周湖の展望台からは綺麗な湖を眺め、釧路で昼食と買い物を楽しんだ後、無事に池田への帰路につきました。

旅行中は大きなトラブルもなく、また、当初心配されていた天候も殆ど雨に当たることなく、充実した親睦旅行となりました。参加された会員の皆様大変お疲れ様でした。

(記事・金融部池田支所課長 穴澤美都恵)



集合写真

馬鈴薯の試験圃場を視察する様子



品種ができるということを学びました。更には試験圃場や施設内の見学もさせて頂き、たいへん有意義な視察研修となりました。

最後に参加者の皆さん、日帰り研修、本当にお疲れ様でした。 (記事・農産指導課長 三好清司)

採種圃組合

ホクレン恵庭研究農場を視察！

7月6日、採種圃組合の視察研修を開催しました。場所は恵庭市にあるホクレン恵庭研究農場で、馬鈴薯新品種の育種について学んで参りました。

馬鈴薯の新品種を開発するまでには最短で10年のはかり、交配は手作業で行うことから始まり数々の地道な作業を積み重ねて、やっと1つの新しい

施設課

豊穰・安全操業祈願祭

7月18日、農産センターH14年工場にて、鈴木組合長をはじめ、役職員にて豊穰と安全操業を祈願いたしました。天候も思わしくなく、農作物の生育の心配もありますが、これからの天候に期待し、小麦をはじめ、豊穰の秋と、災害事故ゼロを願っております。

また、祈願祭の後、工場見学会を行い、ネバリスターの選別作業、小麦の受入準備の説明をさせて頂きました。たくさんの意見、質問があり、農産センターを知って頂く良い機会となりましたので、今後も継続して行っていききたいと思います。

(記事・農産部施設課 五十公野竜介)

豊穰・安全操業祈願祭の様子



毛刈り勉強会の様子



十勝共進会出品牛の毛刈り勉強会（目合わせ）を行いました。この日は2頭の毛刈りを行いました。後日、若手生産者の皆様が協力し合い、残りの出品牛の毛刈りを終えました。

両日とも積極的なご参加をいただき感謝いたします。今後も畜産部では若手の仲間づくりと知識向上を目的とした勉強会を開催して参ります。

(記事・畜産課長 米川 武)

畜産課

黒毛若手生産者勉強会

7月2日・11日の両日、標記勉強会を開催いたしました。2日は10名参加のもと、JA会議室にて共進会出品対策用のDVD鑑賞を行いました。内容は牛のつなぎ方や立たせ方などの調教方法や、ブラッシングや毛刈りの方法などを動画で詳しく紹介したもので、大変参考になる内容でした。

11日には㈱Y・K農産牛舎にて13名参加のもと、

平成
30年度

報徳研修会を開催！

平成30年度報徳研修を全職員対象として、(財)北海道報徳社 常務理事柴田浩一郎氏を講師として招き「協同組合で働くこと、報徳」と題して、6月28日(木)農協本所大会議室で多くの出席者のもと開催いたしました。

今回の報徳研修は、本年度は新人職員が多いため、新人をターゲットとして、これから農業協同組合で働く上でどんな事を考えていけば良いのか。協同組合と企業との違い、相互扶助組織について研修いたしました。以下、研修会の概要について、ご報告いたします。



研修会の様子

1. 農協職員として働くこと

働く上で大切な事は仕事を通して何らかの貢献をしていく事です。組合員一人ひとりが、生きていく(生産をしたり生活をしたり)その先には、地域を守ることになります。最終的に農業は、国民の命を守る事になる。農業は色々な意味で大きな使命を持っている。

農業、農協の最終的な役割としては、「国民の食生活を守る」と言うことが最大の目的になる。農協の仕事というのは、組合員さんを通じて国民の生命を守る産業といっても良い。

2. 協同組合と企業の違い

協同組合の出資金は、その土地で生まれて、その土地で生産をする組合員が出資をしています。その出資した資本金を儲からないと言って、どこか違う所に投資することは、通常ありません。協同組合の資本金は地域に固定された資本金なのです。協同組合は地域から逃げられない。地域に存在してこそ協同組合である。ここに協同組合と企業との違いがあります。

農業経営は、農産物と畜産物を供給していますが、奥深い意味では、国民に対する食糧供給の責任があります。企業は儲けが無ければ倒産するなり撤退するなりすればよいのですが、農業は永遠に食糧生産を求められるのです。農業経営の最大の目標は、「永続する」と言うことです。ですから、農業経営は有り続けなければならない産業です。

3. 協同組合の組合員と職員の関係は

農協が今どういう所に問題をかかえていて課題があるのか、農協職員と組合員が共通の認識になっていなく、職員の間で解決しようとする傾向が続いていました。それでは、組合員の参加意識を持つことになりません。手間がかかりますが、時間を掛けて解決することが、非常に重要です。

また、組合員の集まる機会をどれだけ多く持てるか、そういう機会を作るかは、職員サイドの働き方しだいだと思います。他人任せにしない経営者、企業に頼らない経営者を作り上げるためには、時間をかけて色々な課題について議論をすることが非常に重要な事です。

4. 協同組合運動を前進するカギは女性にあり

協同組合運動は女性も大きな担い手の一員です。組合員の若い世代は、男性も女性も共通の経営者としてのパートナーとして存在しているのです。若い世代の女性は、農業経営、技術を勉強したい意識が強くなっています。

これからの時代は、トラクターはICTの時代、GPSを使って自動操舵ができる時代が来ます。そういう時代に、トラクターに乗って居るのは男だけかということです。女性が農業経営の第一線に立てる、意識の問題だけでなく、労働者不足の問題も含めて、女性が活躍できる環境を作るが必要です。

研修会の最後に、柴田講師から「働くと言う事は、恩恵を受けた人達の想いを引継いで働くと言う事。先代から受継いできたものを「テイク」していき、だからこそ、我々は人間として、この後の世代に「ギブ」していく事。」と言葉をいただき、研修会は終了いたしました。報徳研修は、協同組合の職員である限り学び続ける精神・思想でありますので、次年度以降も継続して研修を行って参りたいと考えております。

(記事・管理部長 花本 敦)

組合員のみなさまへ

平成30年度

「組合員交流会」のご案内

組合員及び地域間の交流を目的として、「組合員交流会」を開催致します。
ご家族で多数ご参加のうえ交流を深めていただきたくお願い致します

日 時 平成30年8月18日（土）

午前11時より

※雨天の場合翌日に順延（翌日も雨天の場合中止）

場 所 清見農村公園（ワイン城横イベント広場）

- ・焼肉パーティ
- ・新規就農者・後継者紹介
- ・新入職員紹介
- ・池田高等学校吹奏楽部演奏
- ・部会対抗〇×クイズ
- ・ピンゴ大会（全員参加）
- ・お子様参加競技



ふわふわ
スライダーも
登場！

乗り放題！

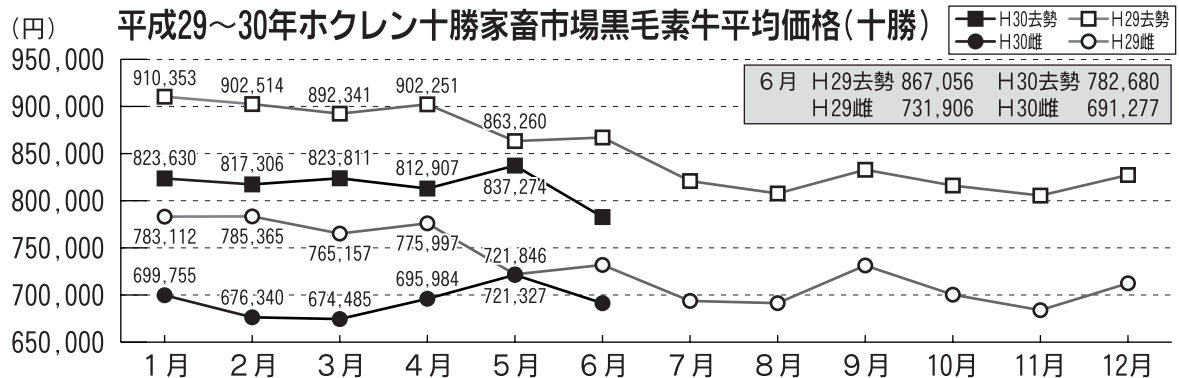


※部会ごとにテントを振り分けますので敷物（クロスシート）及び椅子等を各自持参くださるよう、ご協力をお願いいたします。

主 催 十勝池田町農業協同組合
協 力 十勝池田町農業協同組合部会長会
十勝池田町農業協同組合青年部
十勝池田町農業協同組合女性部

畜産部通信

畜産部
畜産課



6月黒毛素牛出荷区分別成績

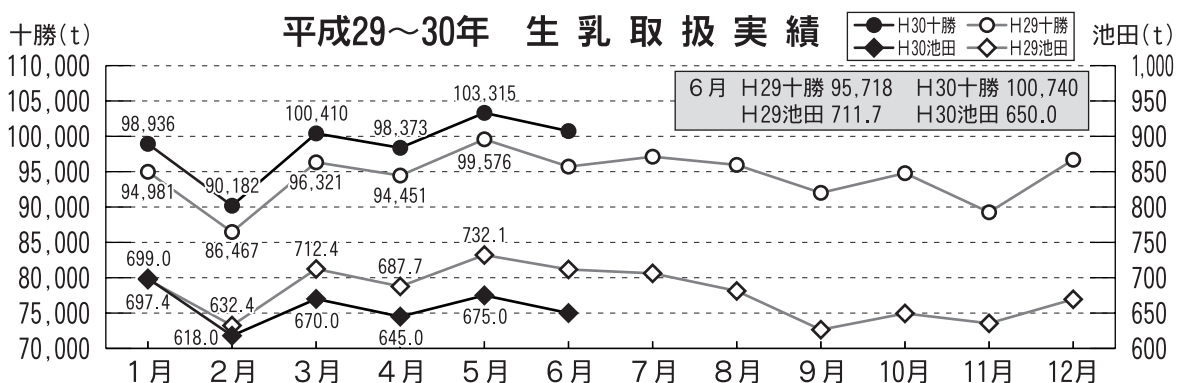
【金額(円)】

		取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	751	782,680	-54,594	
	マニュアル参加牛	731	790,224	-61,034	97.3
	マニュアル認定牛	47	840,906	-93,452	6.4
	和牛素牛	66	796,255	-48,019	
	マニュアル参加牛	59	793,196	-52,840	89.4
	マニュアル認定牛	6	820,080	-21,780	10.2
雌	和牛素牛	521	691,277	-30,050	
	マニュアル参加牛	325	682,048	-42,967	62.4
	マニュアル認定牛	15	783,936	-38,448	4.6
	和牛素牛	27	683,480	-74,458	
	マニュアル参加牛	26	683,640	-63,527	96.3
	マニュアル認定牛	1	700,920	+700,920	3.8

6月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	規格	平均単価(税抜)
9日	黒毛去勢	A-5	2,405
		A-4	2,214
		A-3	1,957
	黒毛雌	A-5	2,354
		A-4	2,233
		A-3	1,934
	F1去勢	B-3	—
		B-2	1,170
	F1雌	B-3	1,303
		B-2	1,179



6月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
5日	乳牛初妊	623	980,115
	乳牛経産	59	558,452

6月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)	前月比
乳牛オス初生	138,517	▲ 13,964
F1オス初生	303,555	▲ 5,033
F1メス初生	201,422	▲ 6,761
廃用牛	189,641	▲ 2,894



畜産部通信

畜産部
畜産課

パート3

草地更新
3か年運動

草地更新のすすめ

メドウフォックステイル（黒穂）の防除について

近年、草地への侵入が目立つメドウフォックステイル（以下MFT）は非常に根絶が難しい、厄介な雑草です。体系的な防除法を紹介しますので、参考にしてください。なお、いずれの防除法も年の単位で時間を必要とします。草地更新と合わせた計画的な取り組みが必要になります。



メドウフォックステイル
（開花期）

メドウフォックステイルの防除法

① 飼料用とうもろこしを2年以上作付し除草剤（ニコスルフロン：

商品名：ワンホープ乳剤）を用いて茎葉処理する

更新予定ほ場において、2年以上飼料用とうもろこし等を作付し、除草剤を使用する。なお、除草剤についてはMFTを枯殺するため、ワンホープ乳剤を茎葉処理で使用する。

② グリサホート系（商品名：ラウンドアップマックスロード等）除草剤3回処理を行う

本年秋に前植生を除草剤処理し、そのまま放置し翌年春に耕起、整地したのち除草剤の播種床処理を2回行う。

③ 直近2年以上1番草を早刈りし、グリサホート系除草剤を2回処理する

MFTが出穂揃いから20日以内（種子が発芽能力を有する前）（目安として6月上旬）の刈取りを2年以上続け、更新時にグリサホート系除草剤を2回処理する。



道端から草地へ侵入したメドウフォックステイル

メドウフォックステイルの特徴

通称「黒穂」とも呼ばれているイネ科の雑草で、短い地下茎を有し、極めて早い時期（5月中旬）に出穂することが大きな特徴です。また、土中埋没種子と地下茎から再生することから、防除が困難であるため、草地へ侵入してしまうとMFTが優先化してしまうことが問題となっています。

1 番牧草の収量調査から

雑草割合が多くなると収量は低下傾向に!!

シバムギ、ケンタッキーブルーグラスとMFTは収量性を極端に低下させます

地下茎イネ科雑草（特にシバムギ、リードカナリーグラスやMFTなど）が優先してしまうと、草地の収量低下を招くことが多いと多くの資料等で紹介されています。今回の調査、JA内の草地においても、同様の傾向が確認できました。（表参照）

生産性の高い草地を維持するためには、雑草を侵入させないことがポイントであり、更新時にしっかりと雑草対策を行うことが重要です。

表 イネ科牧草割合による比較

調査日：平成30年6月15日

イネ科牧草割合による評価 (イネ科牧草割合)			◎ 70%以上	○ 50～69%	△ 30～49%	× 30%未満
ほ 場 数			4	2	3	3
収 量	生 草 (kg/10a)		2,860	2,470	2,060	2,010
	乾 物 (kg/10a)		557	525	421	435
	T D N (kg/10a)		330	302	258	275
草 種 構 成 (%)	牧 草	イ ネ 科 牧 草	91.5	56.0	37.3	8.5
		マ メ 科 牧 草	1.0	2.2	22.0	0.0
	雑 草	シ バ ム ギ	0.0	15.8	17.2	62.0
		リードカナリーグラス	0.0	16.4	9.2	12.3
		ケンタッキーブルーグラス	0.3	1.5	9.3	13.0
		そ の 他	7.2	8.1	5.1	4.2
		雑 草 計	7.5	41.8	40.7	91.5
	合 計		100.0	100.0	100.0	100.0

*その他雑草にはMFTを含む

図は雑草割合と生草収量の関係を表しています。

今回の調査結果では、雑草率が10%高まると生草収量が100kg/10a低下する傾向がみられました。

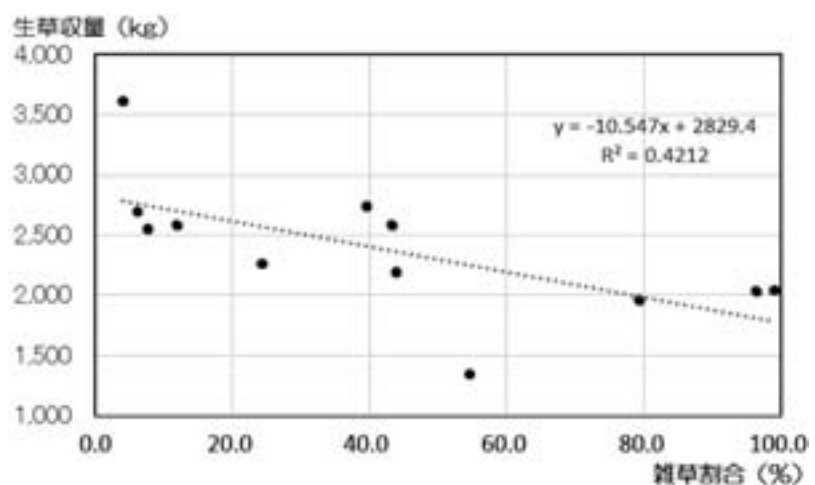


図 雑草割合と生草収量

理事会の動き

第 5 回

〈平成30年7月20日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入、脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 6月末仮決算について
- (4) 共計品の精算について
- (5) 農産物の生育状況について
- (6) 平成30年度目標管理制度の各部目標及び中間面接結果について
- (7) 事業評価評価項目（案）並びに行動計画（案）について

★ 議 案 ★

- (1) 組合員の出資金持分譲渡承認願いについて
- (2) 組合員交流会の開催について
- (3) 池田町農民同盟に対する分担金の拠出について
- (4) 定年退職者再雇用規程の一部改正について

★ 協 議 案 ★

- (1) お盆休業について
- (2) 地区懇談会までの日程について
- (3) 特定組合員の経営協議状況について
- (4) 信用事業運営等のあり方について
- (5) 生活事業のあり方検討について

今月の1枚



食品加工サークルむぎ畑 積立旅行

今月の1枚は7月18～19日にかけて行われた、食品加工サークルむぎ畑の積立旅行での1枚です。

知床第一ホテルに泊まり、ウォッチングクルーズでイルカを見たり、オシンコシンの滝などを観光して楽しみました。

先日、札幌のビアガーデンに行ってきました。大通公園5丁目～11丁目まで、丁目ごとに各ビールの銘柄の会場が設けられていました。1番混んでいたのはアサヒがお客様の入りが多かったように思います。私たちはサッポロを好んで飲んでいたのでサッポロ会場に入りましたが、皆さんはどの銘柄がお好みでしょうか？農作業仕事の後の一杯は格別においしいのではないのでしょうか。

さて小麦もビール色に色付いてきました。皆さんのお手元に広報が届く時には収穫が終わる頃かと思えます。今年も豊作になるよう願っております。（豊原）

編
集
後
記